

文教厚生委員会資料

病 院 局
令和3年6月24日・25日

■報告事項 2件

- 1 ワクチン接種に対する県立病院の支援状況について . . . 1
- 2 中央病院における新型コロナ禍による経営への影響について . . . 2

ワクチン接種に対する県立病院の支援状況について

1. 支援の在り方

県立病院においては、県全域に対する高度な三次医療の提供や新型コロナウイルス感染症への対応等に影響が生じない範囲で、ワクチン接種への医療従事者の派遣等の支援を行っている。

2. 支援の状況

(1) 県立中央病院

① 出雲市による集団接種への職員派遣

[医師の派遣]

- ・派遣期間 令和3年7月1日～令和4年2月24日の隔週木曜日（18日間）
- ・派遣人数 1日当たり1名

[看護師の派遣]

- ・派遣期間 令和3年7月5日～16日、7月26日～8月26日の火・金曜日（8日間）
- ・派遣人数 1日当たり2名

② 警察業務関係職員・特別支援学校教職員を対象とする職域接種への支援

- ・接種会場 県立中央病院
- ・接種期間 令和3年7月10日～25日、8月7日～22日の土・日曜日（12日間） ※ この他、予備日として2日間程度
- ・従事職員 1日当たり医師2名、看護師10名、薬剤師1名

③ その他の職域接種（企業や大学等における職域単位での接種）への支援

- ・病院としての組織的な対応は行わない。
- ・医療従事者個人が要請を受け、休日等にワクチン接種業務に従事することは、公務に支障のない範囲で特例的に認める。

(2) 県立こころの医療センター

① 地域の医療従事者等への接種

- ・接種会場 県立こころの医療センター
- ・接種期間 令和3年5月25日～28日、6月3日、15日～18日、24日（10日間）
- ・従事職員 1日当たり医師2名、看護師2名
※ この他、会場運営に関わる職員として1日当たり5名程度

② 出雲市による集団接種への看護師派遣

- ・派遣期間 令和3年6月28日～8月末の週1日（9日間）
- ・派遣人数 1日当たり2名

中央病院における新型コロナ禍による経営への影響について

1. 入院・外来患者数の動向

- 令和2年度は、4月～6月において新型コロナ禍による受診控えにより患者数が大幅に減少、その後徐々に回復
- 令和3年度は、前年度に比べると患者数は増加しているが、新型コロナ禍以前のよ
うな患者数まで戻っていない

(1) 入院患者数（1日あたり）

(単位：人/日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R元年度(a)	492	491	516	478	473	462	465	473	477	467	480	470	479
R2年度(b)	441	406	412	444	444	437	458	457	434	462	446	475	443
増減(b-a)	▲51	▲85	▲104	▲34	▲29	▲25	▲7	▲16	▲43	▲5	▲34	5	▲36
比率(b/a)	89.6%	82.7%	79.8%	92.9%	93.9%	94.6%	98.5%	96.6%	91.0%	98.9%	92.9%	101.1%	92.5%
	83.9%						95.6%						

【令和3年度】

4月 474人/日 (対R2年度 +33人・107.4% 対R元年度 ▲18人・96.3%)
5月 459人/日 (対R2年度 +53人・113.1% 対R元年度 ▲32人・93.4%)

(2) 外来患者数（1日あたり）

(単位：人/日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R元年度(a)	998	1,049	971	990	980	1,038	1,004	989	1,025	1,041	988	962	1,002
R2年度(b)	838	831	841	930	921	955	909	949	908	919	933	912	904
増減(b-a)	▲160	▲218	▲130	▲60	▲59	▲83	▲95	▲40	▲117	▲122	▲55	▲50	▲98
比率(b/a)	84.0%	79.2%	86.6%	93.9%	94.0%	92.0%	90.5%	96.0%	88.6%	88.3%	94.4%	94.8%	90.2%
	83.1%						92.4%						

【令和3年度】

4月 928人/日 (対R2年度 +90人・110.7% 対R元年度 ▲70人・93.0%)
5月 957人/日 (対R2年度 +126人・115.1% 対R元年度 ▲92人・91.2%)

2. 経営への影響

- 経常損益は、令和元年度に比べ入院・外来患者数が減少、経営改善の取組みにより診療単価は増となり、入院収益の増収や新型コロナ関連補助金（約 6.4 億円）の収入により、平成 22 年度以来の黒字（約 1.9 億円）

【経常損益】

（単位：百万円）

	R 元年度 決算 (a)	R 2 年度 決算 (b)	比較 (b-a)	摘 要
1. 経常収益 (医業収益+医業外収益)	19,157	19,804	647	
うち入院収益	11,459	11,537	78	・延患者数 R元:175,131人→R2:161,717人 (▲13,414人・▲7.7%) ・診療単価 R元:65,430円/人→R2:71,338円/人 (+5,908円/人・+9.0%)
うち外来収益	3,962	3,794	▲168	・延患者数 R元:240,547人→R2:219,553人 (▲20,994人・▲8.7%) ・診療単価 R元:16,473円/人→R2:17,281円/人 (+808円/人・+4.9%)
うち新型コロナ関連補助金	0	635	635	病床確保や感染症対策に係る補助金
2. 経常費用 (医業費用+医業外費用)	19,707	19,612	▲95	
経常損益 (1-2)	▲551	192	743	

- 特別利益や特別損失を含めた純損益は、約 1 百万円の赤字、減価償却費などを加えた償却前損益は、約 5.9 億円
- 償却前損益から企業債償還金などの資本的収支の不足分を差し引いた単年度資金収支は、約 3.7 億円の赤字、令和元年度決算と比較すると約 3.8 億円の改善
- 令和元年度末の現金預金残高から令和 2 年度の単年度資金収支を差し引いた実質的な現金預金残高は、約 12.5 億円
- ただし、新型コロナ関連補助金など例年に比べ未収金が多かったことなどから、令和 2 年度末時点、決算上の現金預金残高は約 9.5 億円、令和元年度末から約 6.8 億円減少

【収益的収支】

（単位：百万円）

	R 元年度 決算 (a)	R 2 年度 決算 (b)	比較 (b-a)	摘 要
1. 総収益	19,157	20,119	962	
2. 総費用	19,708	20,120	412	
純損益 (1-2)	▲551	▲1	550	
償却前損益 (A)	180	587	407	純損益に減価償却費などを加えた額

【資本的収支】

資本的収支不足額 (B)	▲931	▲956	▲25	企業債償還金など
--------------	------	------	-----	----------

【収支等】

単年度資金収支 (A+B)	▲751	▲369	382	
損益勘定留保資金	2,872	2,503	▲369	
現金預金残高	1,626	949	▲677	実質的な現金預金残高は、約12.5億円

